

関西聚 活動報告書



(活動名： レッツ久宝探検隊

活動日：2015.6.28 (日))

リーダー名：伊東 俊廣	報告者：大川 英登
参加者：	
① レッツ久宝探検隊 スタッフ：大川、上田、山本、泉本、神童（講師） 参加者：15人（うち子供7人）、 合計20人	
② 久宝寺自然学習ゾーンの会発足会：スタッフ：大川、上田、山本、神童、片岡（美交工業） 参加者：3人 合計8人	
③ 植物・昆虫調査：スタッフ：大川、上田、山本、神童 参加者：3人 合計7人	
6月28日（日）の活動内容	
午前：昆虫観察会	
午後一番：久宝寺自然学習ゾーンの会（仮称）発足会	
午後：自然学習ゾーン活動 植物・昆虫調査	

活動報告・次回案内・感想など

① 朝からよく晴れて風のある気持ちのいい一日となりました。久宝寺緑地では既にクマゼミが鳴きはじめており夏本番を思わせました。

まず室内で昆虫を益虫と害虫の分類について説明し、この見方はあくまでも人間を中心とした分け方であること、昆虫は食物連鎖を通じてお互い支え合って生きていること、むやみやたらな殺生はバランスを崩し多様性が失われて行く可能性があること、大事な存在であることなどを説明した後観察会に出発しました。

子供たちは網を持ってチョウやトンボを追っかけ回し賑わいのある観察会でした。

昆虫養成の草場が除草されてしまっており、バッタ類が殆んどいませんでした。

チョウ、トンボ類は多く、ウスバキトンボが今年初めて観察され、クロアゲハをゲットした少年は大変嬉しそうでした。捕獲した昆虫は虫かごに入れ子供たちは満足そうでした。

最後に今日の観察会の総括をして、捕獲した昆虫をよく観察した後は逃がして下さいとお願いをして終了しました。

② 久宝寺自然学習ゾーンの会：今までのキノコ会を解散し、自然学習ゾーンの会で一括して統制することにしました。資料を参考に目標について説明し賛同を頂きました。案内を出していたにもかかわらず参加者が少なかったのは残念です。

直近の作業はホダギ本伏せ（7月25日16:00より）、以後遊歩道作成、植樹祭りと続く。

③ 最近増殖中と言われているキマダラカメムシも観察されました。またキオビツチバチが新しく観察されました。

最後にカブトムシ飼育箱へ堆肥を投入してシイタケホダギの脇に設置しました。あとはカブトムシのつがいを5～10組程入れて飼育するばかりとなりました。

次回レッツ久宝探検隊は7月25日（土）セミの羽化観察会 18:00～20:00

🌻 活動写真 🌻

		
昆虫のお話	いざ、昆虫探しへ	捕まえた！
		
慎重にカゴの中へ	捕まえたクロアゲハ	アオスジアゲハを追いかけて
		
どんな虫かな？	観察中☆	発芽したシロダモ
		
堆肥を集める	カブトムシの飼育箱	カブトムシの飼育箱

🌻 たくさんのご参加、ありがとうございました！

※ブラウザを閉じてお戻りください☆